



平成 19 年度
「船用品等に関する法令研究及び情報提供」
事業報告書

平成 20 年 3 月
社団法人 日本船舶品質管理協会

1. 事業目的

舶用機器や船用品の構造、性能要件は、IMO（国際海事機関）により採択された SOLAS 条約等に定められ、国内法令にその具体的な基準が定められている。本会としては、関係条約の改正等に隨時対処しているところであり、今後とも、IMO の条約改正作業や ISO（国際標準化機構）等国際的な規格化の動向を注視していくとともに、本会の調査研究成果を基準の改正等に反映させていくこととする。このため、本事業では、海事関連の条約や国際規格、国内関係法令の改正動向並びに舶用機器の製造、船用品の製造及び整備に必要な事項について調査研究を行ない、これらに関する情報、資料を会員等に提供するとともに、必要に応じて当会の調査研究成果を公表し、関係先に種々の提案を行なう。また、法令改正等に関する説明会を適宜開催し、会員企業の円滑な事業の推進に資する。

2. 事業の内容(計画)

- (1) 舶用機器及び船用品に関する関係条約、国内関係法令の改正等に係る調査研究を実施し、検査関係資料を取りまとめ、会員等に提供する。
- (2) 条約改正に伴う国内関係法令の改正等に関する会員からの要望調査の取りまとめや、対応策の検討を行なう他、法令改正等に係る説明会を適宜開催する。
- (3) 本会の調査研究成果について適宜公表し、かつ、基準の改正等に役立てる等その有効利用を図る。

3. 事業の実施結果及び成果

3. 1 実施結果

本事業に係る委員会を2回開催し、事業の実施方法を検討し、次のとおり事業を実施した。

- (1) 先の「発光ダイオード(LED)を使用した航海灯に関する調査研究」成果をもとにして、我が国から「航海灯及び航海灯制御盤の性能基準案」を IMO の第53回航行安全小委員会に提案した。これに対応するため、当会から有識者を派遣した。
- (2) 我が国からの IMO の第51回設計設備小委員会向けの情報提供文書として、当会の救命艇装置整備技術者養成事業について、その概要を英訳し、小委員会に提供した。
- (3) 救命艇事故防止に関する海外文献を翻訳し、当会関係会員に配布した。
- (4) 法令改正等説明会を次により広島市及び東京都で開催した。

実施日	場 所	実 施 内 容
H20. 3. 4(火)	ホテル グランヴィア広島 (広島市)	船舶救命・防火構造規則等の一部改正並びに鋼船規則一部改正説明会 (1) 船舶救命設備規則及び船舶防火構造規則等の一部改正について (SOLAS 条約附属書第 II-2 章及び III 章の一部改正関連) (2) 最近の鋼船規則改正の概要と IACS の動向について (参加者 広島 110 名、東京 100 名)
H20. 3. 7(金)	東海大学校友会館 (東京都)	

広島会場：参加者 110 名



東京会場：参加者 102 名



3. 2 事業の成果

我が国からの国際海事機関(IMO)等への情報提供に関連し、先の「発光ダイオード(LED)を使用した航海灯に関する調査研究」成果をもとに、我が国から「航海灯及び航海灯制御盤の性能基準案」を IMO の第 53 回航行安全小委員会に提案し、航海灯に係る各国区々の現行の性能基準を統一することができた。

また、IMO は救命艇の落下等重大事故を回避するため、先に、「救命艇装置の定期的な整備及び保守」に係るガイドラインを定め、2006 年 7 月 1 日から、適切に訓練された要員による救命艇装置の定期的な保守・整備を要求している。

このため当会は平成 17 年度から、我が国の救命艇装置整備技術者養成事業を開始し、既に国内外 350 名の整備技術者を誕生させているが、各国の取り組みは区々で、

先に開催された IMO の第 50 回設計設備小委員会においては、本ガイドラインの確実な実施、強制化が強く求められている。

この様なことから、IMO の第 51 回設計設備小委員会に我が国の救命艇装置整備技術者の養成に係る教育内容や資格を与える条件等講習会事業の概要を紹介し、委員会においては、保守、整備事業者の認証に関する暫定勧告案が作成され、本年 5 月開催の第 84 回海上安全委員会に上程されることになった。

一方において、IMO は救命艇の落下等重大事故を回避するため、救命艇離脱フックの構造要件について、見直しの必要性が提案、検討されている。このため、当会は次年度の事業として「救命艇離脱フック機構の安全性向上に関する調査研究」を実施することになったものであるが、救命艇事故防止に関する海外の調査研究に関する文献を翻訳し、当会関係会員に配布して事業の実施に備えることができた。

法令改正等の説明会を広島市及び東京都で開催し、各会場とも予想を超える多数の海事関係者が参加し、説明会は盛況裏に終了した。